

# 村のがまだしモン

No.7

村で頑張っている若者を  
紹介します

小林 公子さん 中松三区

県立農業大学を卒業後、平成5年に家事の手伝いで牛の仕事を手伝い始めていつの間にか、二十数年経った。なぜと聞かれ「私、阿蘇で牛飼っています」と言いたくて牛を養うことを始めた気がします。現在、母牛を80頭飼育していますが、品種改良はもとより、ここ南阿蘇の恵まれた水田地域・共同牧野等、牛を養うことにはもってこいの好条件に気付かされます。しかし、この素晴らしい牛、牧野、水田等の循環型農業もいろんな意味で継続が難しくなりつつあり、私たちの大きな課題だと思えます。ジオパークの中の小さな一人として、これからも活動していけたら幸いだと思えます。

夢は、「ばあちゃんになっても牛が養っていられたらいいな」と話してくださいました小林さんでした。



3人の子育てで奮闘中の公子さん

村上 徹さん (27歳) 加勢地区

高校を卒業してから半導体関係の仕事を8年経験したのち、今のハイコムウォーターに就職しました。体を動かすことが好きで、山登り、ボルダリング、釣り、スノーボード、サーフィン、野球など季節ごとで色々なスポーツに取り組んでいます。

就職してから、南阿蘇工場に地元の方や県外からお客様を招待してバーベキューを行ったり、地元の田んぼを借りて、稲刈り体験などを行なってたくさんの方と楽しく交流しています。南阿蘇の水の美味しさや自然の豊かさを体感してもらおう活動にも取り組んでいます。今の自分がやっていきたいことがまさに一致している職場です。

これからはもっと自分の住んでいる南阿蘇の魅力を全国に発信していきたい。是非工場見学に来て南阿蘇のおいしい水をお召し上がりください。お待ちしております。と語ってくださいました村上さんでした。



仕事と趣味を両立する村上さん

## 編集後記

明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく、新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

早いもので、私たち議員もやがて3年目が終わろうとしています。昨年は阿蘇山の噴火等不安を感じる年でした。今年は平穏無事に終わってほしいと願っています。本年は、中学校や庁舎の統合がなされ、新たな一歩を踏み出す年となります。残された任期中、地域の皆様と共に、住みよい村づくり、また広報委員一同親しまれる、議会広報誌づくりに邁進していきたいと思えます。今後とも議会広報、ご愛読のほどよろしくお願ひします。

議会広報特別委員会

委員長 桐原 純男

委員長 桐原 純男

副委員長 市原 秀志

委員 脇坂 春喜

委員 後藤 征昭

委員 丸野 健一

委員 吉浩

議長 荒牧 俊一

発行責任者

議会広報特別委員会